

凍結予防について

冬期は温かい地域でも、給水・給湯配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。販売店へ相談し、適切な凍結防止対策をしてください。

方法1：凍結防止ヒータによる方法

凍結の可能性がある期間は、給水・給湯配管の全ての凍結防止ヒータの電源プラグをコンセントに差し込み、貯湯ユニットの電源は「OFF」しないでください（電源プラグはコンセントに接続したままにする）。それ以外の期間は、全ての凍結防止ヒータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

お願い

配管が凍結した場合は、給水元栓を閉じて、販売店または巻末のお問い合わせ先にご連絡ください。

▲注意

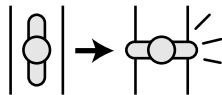
配管の凍結防止対策を確認してください。
凍結すると機器が破損したり配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

方法2：水を抜く方法

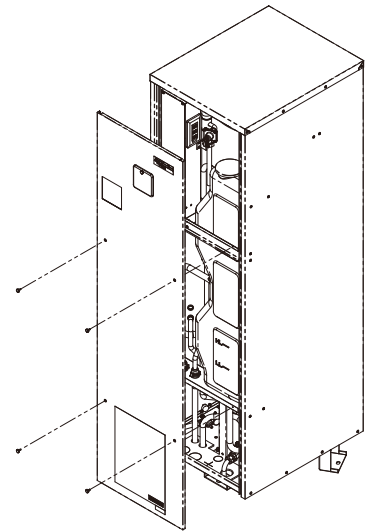
①電源プラグをコンセントから抜きます。



②給水元栓を閉じます。



③化粧ネジをゆるめて前板を外します。

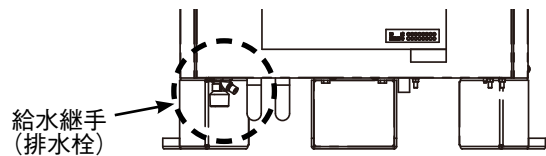


④逃し弁（P 6 各部の名称参照）のレバーを開いた状態にし、弁を開きます。

⑤貯湯槽下部の排水バルブ（P 6 各部の名称参照）を開けて水を抜きます。

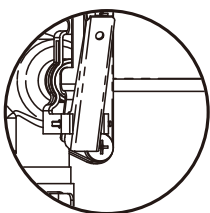
⑥減圧弁（P 6 各部の名称参照）の突起を押し込んで水を抜きます。バケツ等で受けてください。

⑦給水継手の排水栓を開けて水を抜きます。

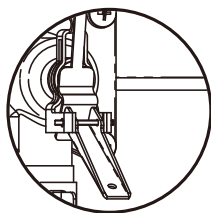


⑧水抜きが終わったら、各弁は上記の状態とし、前板を取り付けてください。

<逃し弁の操作>

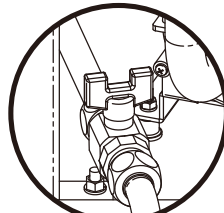


（閉じた状態）

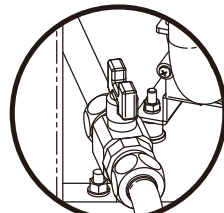


（開いた状態）

<排水バルブの操作>

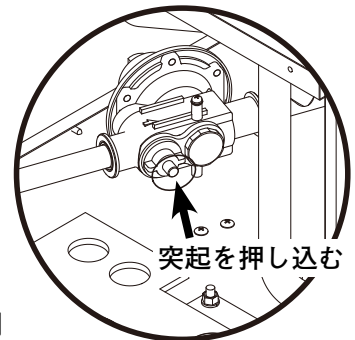


（閉じた状態）



（開いた状態）

<減圧弁の操作>



突起を押し込む

※再度ご使用になる時は、「はじめてお使いになるとき」と同様の手順でご使用ください。